

岩手県沿岸北部を震源とする地震について

平成20年7月24日（14：00）現在
官 邸 対 策 室

1. 地震の概要（気象庁）

- (1) 発生日時 平成20年7月24日 0時26分頃
- (2) 震央地名 岩手県沿岸北部（北緯39度43.9分、東経141度38.1分）
- (3) 震源の深さ 108km
- (4) 規模 マグニチュード6.8（暫定）
- (5) 各地の震度（震度5強以上）
 - 震度6強 岩手県洋野町
 - 震度6弱 岩手県野田村、
青森県八戸市、五戸町、階上町（はしかみちょう）
 - 震度5強 岩手県宮古市、久慈市、山田町、普代村、大船渡市、釜石市、大槌町、
二戸市、一戸町、八幡平市、軽米町、北上市、一関市、平泉町、
奥州市、遠野市宮守町
青森県東北町、青森南部町、東通村
宮城県気仙沼市、涌谷町、栗原市、宮城美里町、大崎市、石巻市
- (6) 津波 この地震による津波の心配なし
- (7) 余震情報（13：00気象庁）
震度1以上を観測した余震は1回（最大余震：発生時刻11時28分、震度3、マグニチュード5.0（推定））
- (8) 気象状況（13：00気象庁）
 - ・24日は、青森県は曇りで所により夜のはじめ頃まで雨、岩手県では曇り夕方一時雨の見込み。最高気温は27度から29度。青森県、岩手県では25日にかけて濃い霧が発生する所がある見込み。

2. 被害状況（未確認情報を含む）

- (1) 人的被害（14：00警察庁）
負傷者（109名（うち重傷16））
北海道（1名（同1））、青森県（54名（同4））、岩手県（39名（同7））、
秋田県（2名）、宮城県（11名（同3））、千葉県（1名）、山形（1名（同1））
- (2) 避難状況（10：00消防庁）
自主避難実施：2世帯8名（遠野市、山田町）
遠野市 1世帯5名（達増部小学校）
山田市 1世帯3名（ふるさとセンター）計2世帯8名
→現時点で自宅へ戻っている（10：00消防庁）

- (3) 建築物被害 (12:30 警察庁)
一部損壊 (31戸): 岩手県 (18戸) 青森県 (10戸)、宮城県 (3戸)
火災 (2戸): 青森県 (1戸)、岩手県 (1戸) →鎮火
- (4) 山崖崩れ (12:30 警察庁)
6件: 岩手県 (2件)、青森県 (4件)
- (5) 学校等の物的被害 (13:30 文科省)
青森県: 2件、岩手県: 34件
主な被害状況: ガラス破損、壁亀裂、天井材の一部落下等
- (6) 社会福祉施設 (10:30 厚労省)
青森県: 7施設(建物に亀裂等)、岩手県: 10施設(建物に亀裂等)
- (7) 交通
- ・道路 (13:30 国交省)
 - ・高速道路・有料道路とも規制解除
 - ・国管理国道 通行止め、通行規制なし
 - ・県管理国道
全面通行止め: 国道102号 (2箇所)、国道342号 (迂回路林道)
 - ・都道府県道
全面通行止め: 岩泉平井賀普代線 (2箇所)、安家玉川線
片側交互通行: 土淵達曾部線、三沢十和田線
 - ・鉄道 (13:30 国交省)
脱線なし、点検中: 10路線
- (8) ライフライン等の状況
- ・原子力施設 (12:00 原子力安全・保安院)
 - (東北電力) 東通原発 点検終了・異常なし (運転中)
女川原発 点検終了・異常なし 2・3号機運転中 (1号機は定期検査中) ※点検終了後、サービス建屋1F (管理区域内) で少量の水たまりを発見。放射エネルギーは検出限界値以下。原因調査中。
 - (東京電力) 福島第一原発 1~6号機 点検終了・異常なし (運転継続中)
福島第二原発 1~4号機 点検終了・異常なし (運転継続中)
 - 日本原燃六ヶ所再処理施設 (青森県六ヶ所村) 点検終了・異常なし (試験運転中)
 - ・停電 (原子力安全・保安院)
6:39 全面復旧
 - ・ガス (12:00 経産省)
都市ガス: 八戸市 ガス漏れ6件 (うち1件は既に修繕完了、2件が応急処置済み、3件が調査中)、石巻市 ガス漏れ1件 (対応中)

- 簡易ガス：八戸市 ガス漏れ 1 件（修繕中）
- LPガス：久慈市 ガス漏れ 1 件（対応済み）
- ・水道（13：30厚労省）
 - 岩手県遠野市：断水 8 戸
- ・通信（10：00総務省）
 - 携帯：すべて復旧

- (9) 農林水産関係（9：00農水省）
 - 被害状況調査中

3. 政府の主な対応

- ・ 0：34 官邸対策室設置、緊急参集チーム招集
- ・ 0：34 内閣府災害対策室設置
- ・ 0：35 総理指示
 - 「被災状況の早期把握と迅速な広報及び被災者等ある場合、救助に全力を挙げる。」
- ・ 1：20 緊急参集チーム確認事項
 1. 岩手県沿岸北部を震源とする地震について、被災者の速やかな救出・救助活動に全力を尽くす。
 2. 県や市町村との連絡調整及び情報収集を密接に行い、被害情報の収集に全力を挙げる。
 3. 広域に及ぶ被害が確認されたならば、緊急消防援助隊、警察広域緊急援助隊、自衛隊の災害派遣による被災地への広域応援を行い、必要に応じ増援し、被害の状況に応じて万全の体制を期する。
 4. 引き続き、県や市町村との的確な連携を図りながら、政府一体となって適切に対応する。
- ・ 政府調査団の派遣
 - 3：43 政府調査団（28名）が岩手県及び青森県に向けて市ヶ谷出発（CH—47（ヘリ：入間基地まで））
 - 4：28 岩手県に向け入間基地発（C—1（固定翼）に乗り換え）
 - 5：13 松島基地（宮城県）着
 - 6：53 松島基地離陸
 - 7：31 三沢基地（青森県）着
 - 7：45 三沢基地発
 - 8：10 岩手県洋野町役場 着
 - 8：58 泉防災大臣が総理へ電話報告
 - 9：30 岩手県洋野町役場 発
 - 10：30 青森県階上町栽培漁業センター 着
 - 10：45 青森県階上町栽培漁業センター 発
 - 11：43 青森県八戸市役所 着
 - 13：00 青森県八戸市 発

- 13 : 15 八戸基地 発
- 15 : 00 入間基地 着 (予定)
- 15 : 20 入間基地 発 (予定)
- 15 : 40 防衛省A棟ヘリポート 着 (予定)

・岩手県

- 0 : 26 災害対策本部設置

4. 各省庁の活動状況

(1) 警察庁

- ・ 0 : 34 災害警備本部設置
- ・ 警察広域緊急援助隊派遣 (12 : 00 警察庁)
派遣 : 東北管区4県 (宮城、秋田、山形、福島)
- ・ 7 : 11 警視庁ヘリ岩手到着
7 : 40 新潟県警ヘリ岩手到着
- ・ 機動警察通信隊等計11名派遣 (東北管区、秋田、福島、山形)
- ・ 岩手県警察にあたっては、広域緊急援助隊 (宮城、福島) の応援をえて、宮古市及び野田村の土砂崩れ現場において捜索活動中
- ・ 青森県警察にあたっては、広域緊急援助隊 (秋田、山形) の応援をえて、八戸市及び十和田市内を捜索活動中。
- ・ 被災地における活動警察官数 (12 : 30現在) 約5000名 (うち広緊隊158名)
- ・ 警察ヘリコプターの活動機数 (12 : 30現在) 計 6機

(2) 防衛省

- ・ 0 : 34 災害対策室設置
- ・ 0 : 45 岩手県知事から9特連隊へ災害派遣要請あり
- ・ 0 : 50 F15百里基地離陸
- ・ 2 : 45 青森県知事から9師団に災害派遣要請あり
- ・ 派遣規模 (12 : 30時点)
人員 : 約120名、車両 : 約40両、航空機 : 27機
- ・ 12 : 20 防衛副大臣現地視察

(3) 国土交通省

- ・ 0 : 26 災害対策本部設置
- ・ 0 : 26 東北地方整備局、運輸局非常体制
- ・ 緊急災害対策派遣隊 (TEC-FORCE) 派遣 (計16班 58名)
国土交通省本省、東北地方整備局、北陸地方整備局、気象庁
- ・ 防災ヘリ3機が状況調査中

(4) 海上保安庁

- ・ 0 : 3 0 地震災害対策本部設置
- ・ 航空機による沿岸部被害状況調査
新潟～福島の調査終了。秋田～竜飛崎及び岩手沖は天候不良につき一部確認できず。
現在まで異常なし。
- ・ 巡視船艇による沿岸部被害状況調査
主要港湾施設等及び新潟～仙台に至る殆どどの沿岸域の調査終了。残る秋田～陸奥
湾については引き続き調査を実施中。

(5) 消防庁

- ・ 0 : 2 6 災害対策本部設置
- ・ 0 : 5 2 消防庁長官から緊急消防援助隊の出動要請
- ・ 1 : 2 5 消防庁職員 2 名を岩手県に派遣
- ・ 2 : 0 4 消防庁職員 2 名を岩手県に派遣
- ・ 1 2 : 5 0 緊急消防援助隊出動状況 (計 1 0 2 隊、4 0 3 名)
- ・ 出動中人員 : 1 7 9 2 名 (緊消隊含む)

(6) 厚労省

- ・ 0 : 3 8 各都道府県、災害拠点病院、全国の D M A T 等に待機要請
- ・ 0 : 5 0 災害対策本部設置
- ・ 6 : 5 4 1 0 都県から計 2 0 チームを派遣
- ・ 9 : 5 4 1 6 チームが現状把握と待機、4 チームが撤収開始。

(7) 経産省

- ・ 0 : 4 0 防災連絡会議設置 (原子力安全・保安院、緊急参集)

(8) 気象庁

- ・ 0 : 2 6 非常体制
- ・ 航空気象業務の臨時提供の実施
- ・ 大雨警報の発表基準の暫定運用を実施予定